

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・台風の影響もなく好天続きで、観光客数、売上とも増加している。石油価格の上昇も一段落しており、追い風である。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・売上、来客数は、前年度と比べて5%ほど増えている。
	やや良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・衝動買いが増えてきている。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	来客数の動き	・前年の8、9月の来客数は減少傾向にあったが、今年は8月以降来客数、来店回数とも増加している。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・改装オープンにより、来客数は少し増えている。若い人の来店も多く、値段が高い輸入靴がよく売れており、売上増加につながっている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・当店や競合店で大規模な売場改装を実施しており、競合は激化しているが、当店の売上は好調に推移している。宝飾品、輸入特選ブランドなど高額品から食品まで幅広く好調で、不調商材はほとんどない。この数か月には見られなかった状況である。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・例年より気温が2度ほど低く、衣料品を買いに来店する客が増えている。また、8月まではあまり反応が良くなかった店外催事でも、動員数、売上とも増えており、久々に良い月である。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数、単価、売上とも上向きである。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が増加している。また、単価も若干上昇してきている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・今月も大々的にセールをかけている。低価格志向は依然続いているが、買い控えはなくなってきている。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・台風など天候による悪影響が少ない。野菜や鶏卵の相場が高めに推移しており、売上増加に貢献している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・提案型の売場に対して客の反応が良く、販売数、来客数ともに前年を上回っている。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・猛暑にもかかわらず、一部の秋物の動きが例年になく早く、量も売れている。一部のトレンドユーザーだけの動きではない。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数は、9月中旬以降急に増加している。成約率も上昇している。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・修理のため在庫した客による台替えが増えている。以前はそのまま修理していたが、新車台替に切り替える客の割合が高まっている。
		乗用車販売店（従業員）	それ以外	・来客数の動きはそれほど変わっていないが、実際に購入を検討する客は若干増えてきている。周辺の同業他社でも、着実に売れているという話を聞く。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算月であるが、販売台数は例年より少し良い。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・増販月ということもあるが、新型車がないにもかかわらず、販売量が多い。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持家住宅、賃貸住宅、分譲マンションが好調である。また、民間企業の設備投資が好調で、工場、オフィスビルの建設も増加している。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・名古屋栄地区では、昨年は万博に集客を奪われていた反動もあり、今月に入って特に来客数、売上が前年を大幅に上回っている。
その他小売〔総合衣料〕（店員）	お客様の様子	・例年に比べて防寒衣料の動きが早く、店頭での販売量が増えている。		
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・9月後半以降宿泊の問い合わせが増加している。また忘年会の問い合わせも前年に比べて出足が良い。		
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候が安定しており、来場者数は増加している。		
美容室（経営者）	来客数の動き	・天候に恵まれており、パーマや毛染めの客が増えている。		

	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・値段の安い物件からよく売れている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・低迷していた店舗でも販売数を回復しており、全社的に上昇傾向である。秋商戦も短期間で効果が出ている。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・三河地方の自動車関連企業の好景気に支えられ、単身者用のアパート、賃貸マンションの満室状態が続いており、入居に関する問い合わせも多い。ただし、空室が少ない。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・賃貸住宅の居住者から、賃貸を続ける場合と家を購入する場合の金額比較の相談が増えている。その購入対象となる2000万円前後の住宅の需要が増加している。
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・客の様子からは購買意欲はみられるが、依然として客単価が低く、販売量の増加にもつながっていない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・販売量は、昨年の万博会場周辺の量販店では増加傾向にあるが、駅や宿泊施設の販売店では減少するなど、販売地によってばらつきがある。しかし、全体の販売量はほぼ変わらない。
	一般小売店[生花](経営者)	お客様の様子	・高額商品が売れている。その一方で、低価格品に関しては、税込みでいくらといった細かい指定をする客も増えている。
	一般小売店[酒](経営者)	来客数の動き	・来客数は、例年と比較してあまり変わっていない。前年実績を維持するのは非常に難しい。若年層の来客数が伸びている一方で、中高年層の新規客は伸びていない。
	一般小売店[薬局](経営者)	単価の動き	・地元企業の倒産が増加しており、地方の景気は全然良くなっていない。比較的余裕のあった高齢者も最近負担が増えており、出費がかさむと嘆いている。そうした影響で、単価は伸び悩んでいる。
	一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・客単価が低い。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・まだ暑い日が続いており、秋冬物を購入する動きが鈍い。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・秋物衣料の動きが軟調であり、苦戦している。
	百貨店(企画担当)	来客数の動き	・百貨店で買物をする客は限られており、来客数は伸び悩んでいる。時間を掛けて品定めをし、気に入るものがなければ何も買わずに帰る客など、買物に慎重な姿勢もみられる。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・青果関係の入荷がやや悪く、価格も少し高い。しかし、客はさほど気にしていない。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・三重県下の客の様子では、消費は伸びていない。スーパーでは全体的に売上は伸びておらず、消費動向は相変わらず良くない。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・コンビニや中小スーパーのオープンが数件あり、チラシ合戦が続いている。客はチラシを見て、少しでも安い店に行っている。
	スーパー(店長)	単価の動き	・原油価格高に伴い水産物価格が高騰しているが、客単価は相変わらず前年比98%前後で推移している。買上点数も減少している。
	スーパー(営業担当)	単価の動き	・既存店の1点当たり単価、客単価、買上点数は、前年並みのままである。来客数は前年比102%であるが、3か月前と比較すると鈍化している。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・飲酒運転の取締りが厳しくなった影響で、飲食店への売上が2割ほど悪い。しかし全体的には、ほぼ横ばいで変わらない。
	コンビニ(エリア担当)	それ以外	・今月の売上も前年割れしている。客が商品を選ぶ姿勢も、より厳しくなっている。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・昨年のこの時期はハイウェイカードの駆け込み需要が売上を2%ほど押し上げていたが、それを差し引いても、来客数の前年割れは続いており芳しくない。客単価は変化していない。	
コンビニ(商品開発担当)	販売量の動き	・米飯類、パン、飲料など主力商品の販売量、単価は、引き続き大きく前年割れしている。	

衣料品専門店 (販売企画担当)	お客様の様子	・国内での加工が大きく減ってきており、加工賃の割合が大きい個人営業では生き残れない状況にある。
衣料品専門店 (売場担当)	販売量の動き	・季節が変わり、単価は少しずつ上昇しているが、販売量は変わっていない。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・10月の新型車発表を前にして、先行受注の盛り上がり期待したが、まだまだである。また、燃料価格の高騰の影響で、排気量が大きい車の動きが鈍い。さらに、受注は新しい特別仕様車に偏っており、手持ちの在庫車両が動いていない。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・ガソリン価格高騰の影響が出ており、軽自動車の売行きが良い。軽自動車も含めた自動車全体の販売量には、大きな変化はない。
乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・決算期で例年なら増販が見込めるが、新規客の来店は年々減少しており、競合も激しく、思いどおりの増販にはつなげていない。サービス工場への在庫数は例年並みである。
乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・サービス工場への在庫数は前年並みであるが、新規来客数は9月中旬以降減少傾向にある。新規客の獲得に苦労している。
乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・新型車に対する反応は良くなってきている。
自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	・今月は集客をねらってバーゲンセールを行ったが、来客数は伸びていない。客単価も低く、売上は増えていない。
その他専門店 [雑貨](店員)	来客数の動き	・来客数は前年並みで、変化はない。
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・来客数の伸び悩みが続いている。地域や店舗による来客数のばらつきも拡大している。
スナック(経営者)	来客数の動き	・今前半は盆休み中のレジャー出費の反動もあり、人出は少なかった。後半に入ると送別会などの団体客が増え、全体的には前年を1割ほど上回っている。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊数は前年比105~110%と堅調に推移している。その一方で、昼食、夕食の来客数は80~90%止まりと、3か月前から変わらない。
都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・来客数は増加しているが、単価は低下したままで上昇していない。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・9月に入って来客数は減っている。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・9月上旬の1週間ほどは忙しかったが、中旬に入り来客数は減ってきている。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・夏商品は長雨で伸び悩んだが、秋の旅行の申込件数、来客数は順調である。海外旅行も、タイのクーデターの影響もなく、まずまずである。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は適度に雨が降ったため、タクシー利用客が増えて売上に貢献している。
タクシー運転手	来客数の動き	・これまでは多少良くなってきていたが、昨年の悪さに戻ってしまっている。
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・新規契約数が減少し解約数も多く、相変わらず厳しい環境が続いている。
通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・高額商品を購入する客は、相変わらず多くない。客の様子もほとんど変わっていない。
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・台風の影響もなく、ここ数か月、入場者数は好調に推移している。
パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きなどに変化はない。
美容室(経営者)	来客数の動き	・客の来店サイクルはかなり長くなっている。
美容室(経営者)	お客様の様子	・客の回転は相変わらず悪く、景気の悪い話も聞かれない。
その他サービス [珠算塾](経営者)	お客様の様子	・新学期でも入塾生は数人である。都市部の子供の数は減少しており、相変わらず底の状態が続いている。
その他サービス [介護サービス](職員)	お客様の様子	・介護保険制度の改正の影響で、福祉用具をレンタルできない客やケアマネージャーは、中古の福祉用具の購入に流れている。

		設計事務所（職員）	単価の動き	・愛知県下では自動車産業で働く若者が多く、こうした若年層から住宅建築の注文が増えている。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・機能が同じならブランド品でなく安い普及品でよいという客が増えている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年なら季節が変わると季節商品が売れるが、今年は全く売れていない。来客数も少ない。そのため、販売量、売上とも減少している。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・売上は3か月前の95%ほどで推移している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・客単価と来客数が悪化している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は暇な日が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新規の個人客が増えているにもかかわらず、全体の来客数は減っている。
		通信会社（開発担当）	お客様の様子	・携帯電話の機能拡充によりインターネット接続が手軽になったため、光通信サービスの申込は減少傾向にある。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・まだ気温が高く、例年なら忙しいはずなのに、来客数は少ない。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	販売量の動き	・問い合わせはあるものの、入校に結び付かないケースが増えている。
		住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・商談中の客が2、3組あるが、金額面で折り合わず結論に至らない状況が続いている。
悪くなっている		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・婦人服の購入客は買う商品が決まっており、衝動買いをしない。単価も落ち込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・駐車違反、飲酒運転の取締りがかなり厳しくなった影響で、来客数は減っている。
企業動向関連	良くなっている	出版・印刷・関連連産業（経営者）	取引先の様子	・新店舗の開店や求人の広告が大幅に増加している。
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料価格の高騰分を上乗せしたことに伴い、製品価格は上昇しているにもかかわらず、受注量、販売量とも堅調である。
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・取引先では業績の回復に伴い開発資金が潤沢になっており、新規の提案が次々に採用されている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・受注に至る案件は少ないが、引き合い件数は増えてきており、大規模プロジェクトの情報も入ってきている。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・既受注分の外注価格が高騰しているが、それを販売価格に転嫁できないでいる。しかし、引き合い、受注件数とも増えており、状況は上向きである。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・不動産の動きが活発である。ハウスメーカーでは、宅地候補となる土地の取得意欲が強い。収益物件を探す投資家も多く、一部地域ではかなりの高値が付いている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・天候が安定し、ガソリンなどの燃料価格も一部で低下しており、不安感は和らいでいる。建築業者等の受注も、前月の好調さを概ね維持している。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・売上、利益とも改善している顧問先が多い。単価も以前と比べて上昇している。
	変わらない	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格が上昇しているが、販売価格は大口や食品関係で据置きないし値下げしている。全体的な販売量はやや減少している。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格は引き続き高止まりしているが、販売価格は低下傾向にある。デフレ脱却にはほど遠い。
一般機械器具製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・産業用建設機械部品の受注量は、引き続き高水準である。	
電気機械器具製造業（経営者）		取引先の様子	・取引先の設備投資の状況は変わっていない。	
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・今年に入ってからの原材料使用量は、業種によって多少増減があるが、全体的にはほとんど横ばいで推移している。	

	電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・企業の設備投資は、大型ではないが、継続的に行われている。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主力取引先の状況はなかなか回復せず、今一步である。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	取引先の様子	・取引先、関係業者の様子とも、変わっていない。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラックへの積み込み貨物量はほとんど変わっておらず、横ばい状態である。	
	輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・同業他社と同様、荷物取扱量は前年を下回っている。	
	輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・燃料価格の高騰分を運賃に転嫁したいが、同業者間の競争により運賃は逆に低下傾向にある。荷主も燃料費上昇に理解を示すものの、運賃値上げには腰が重い。運送業界の経営は非常に苦しい状況が続いている。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・客先では特別な投資意欲もなく、3か月前と変わらない。	
	金融業（決算予算担当）	取引先の様子	・企業倒産など景気に対するマイナス材料は大きく減少したものの、プラス材料も乏しい。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・客からの依頼案件が急に保留や延期になる例が相変わらず多い。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・地元では電機関連の工場立地があるものの、正社員の雇用は思ったほど増えていないため、住宅購入にはあまり影響が出ていない。	
	公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業の業績は改善していない。中小企業では操業度が高い割に収益率が低い。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・この2か月ほどの間、受注量は横ばいまたは減少している。	
	やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・ステンレス材を始め原材料価格の値上がり感が深刻である。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・中国市場への参入により、前期比で大幅増収となっている。ただし、新素材開発に向けた大型設備投資に伴う償却費がかさみ、減益となっている。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少しており、見積件数も非常に少ない。同業の大企業の販売量は増えてはいるが、中小零細企業の仕事量は減っている。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・金融機関では良い人材を幅広く確保しようとする動きが強く、未経験者の派遣も可になってきている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業の人材不足は続いており、人材派遣の需要は依然としておう盛である。追加注文も増えており、応じきれない状況にある。
		職業安定所（所長）	採用者数の動き	・求人数は高水準で推移しており、当所の紹介による就職者数も前年同時期に比べ大幅に増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、前月比では減少しているものの、3か月前と比べると増加している。前年同月比では16%増である。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は堅調に推移している。	
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・求職者は相変わらずほとんど集まらない。技術系の求職者は大手人材派遣会社に流れている。	
	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・技術者派遣では、量より質の注文が増えてきている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣は相変わらず好調に推移している。ただし、正社員の求人は伸び悩んでいる。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・タクシーなどの乗務員関連や人材派遣会社等の求人広告が落ち込んでいる。特に乗務員関連では、地元での採用効率が悪いいため、東北や九州で求人しているようである。	

	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県の雇用環境は、全体的には変化は小さいが、業種によって好不調がはっきりしている。 ・静岡県西部では、製造業の正社員募集が活発で雇用が追い付かない。県中部は商業が中心であり、軽雇用は多いが正社員募集は多くない。地場産業の募集もあまりない。県東部では観光産業が不調であるため、求人も減っている。パートの割合も高い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・原油価格高の影響などもあり、収益面では厳しい企業も多いが、仕事の忙しさを反映して有効求人数は前年比で3か月連続増加している。
	職業安定所（管理部門担当）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・求人関連の指数は高水準を維持している。ただし、非正社員化など間接雇用が一層進んでいる。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・4～8月の離職者数は前年同期に比べ10%増加しており、うち事業主都合によるものは20%増加している。5人以上の企業整備も前年に比べて増えている。 ・求人数は、派遣、請負は増加しているものの、他の大部分の業種では減少している。特に、卸小売業、飲食店等の求人数の減少が大きい。
悪くなっている	-	-	-